



▲こどもの健診・相談などの情報はこちら

健康こうのす

健康ひろば



鴻巣保健センター：健康づくり課 ☎543-1561、FAX 543-5749
 吹上保健センター：☎548-6252、FAX 549-2696

子育て支援課母子保健担当 ☎543-1562

大人の発達障がいセミナー～家族向け～

発達障がいのある方の中には、無理をして周りに合わせようとする中で苦しんでいる方も少なくありません。社会に出るようになってから、様々な困難さを感じて、「発達障がい」と診断されたり、「発達障がいの傾向があるのでは？」と自覚される方がいます。大人の発達障がいについて、話を聞き一緒に考えてみませんか。

日時 2月26日(水) 13時30分～15時30分

場所 鴻巣保健センター

対象 市内在住の方

定員 20人(先着順)

費用 無料

講師 丸山 美保さん(臨床心理士)

申込み 1月17日(金) 9時から2月25日(火) 17時までに電話で健康づくり課

問合せ 健康づくり課

暮らしとこころの総合相談会を実施

生活面の問題・こころの健康問題・失業・多重債務・相続・職場のトラブル・ひきこもりなどの悩みについて、弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士が相談をお受けします(要予約)。

日時 3月7日(金) 11時～15時

場所 鴻巣保健センター

対象 市内在住の方

費用 無料

申込み 2月7日(金)から3月6日(木)の平日10時から17時に電話で暮らしとこころの総合相談会事務局 ※相談当日も13時まで受付

問合せ 暮らしとこころの総合相談会事務局(☎048-782-4675)

2月

休日当番医(診療内容は事前に確認してください) 9時～12時・13時～17時

月日	医療機関名	科目	電話
2/2 (日)	清水こども医院 村越外科胃腸科肛門科	内科 外科	540-6360 548-0048
2/9 (日)	昭和クリニック 坪山整形外科	内科 外科	548-0025 548-0052
2/11 (祝・火)	サンビレッジクリニック鴻巣 鴻北クリニック	内科 外科	540-0088 595-3733

月日	医療機関名	科目	電話
2/16 (日)	河野小児科医院 鴻巣外科胃腸科	内科 外科	541-0146 543-7770
2/23 (祝・日)	こうのす共生病院 こうのす共生病院	内科 外科	541-1131 541-1131
2/24 (振・月)	佐野医院 小室クリニック	内科 外科	541-2888 541-0020

●県救急電話相談(大人・小児の相談、医療機関案内) ☎#7119又は048-824-4199(24時間対応)

●鴻巣市医師会救急ダイヤル ☎543-9900(24時間対応)

●夜間診療所 ☎543-1561 診療日 年末年始を除く平日の19時～22時(受付＝19時～21時45分)

診療科目 内科・小児科

※軽症の応急処置に限る(熱のある方は事前に連絡してください)



▲休日当番薬局は市HPをご覧ください

まず、起源と原料では、漢方薬は古代中国の伝統医学に基づき、身体全体のバランスを整えることを目的として、植物や鉱物、動物由来の天然素材を使用します。一般薬は化学合成された成分を主成分とし、特定の病気や症状に直接作用するように設計され、科学的な研究と臨床試験を経て効果と安全性が確認されています。

次に、治療のアプローチでは、漢方薬は、個々の体質や症状に合わせた処方が特徴で、慢性疾患や未病の改善に効果的です。一般薬は特定の症状を迅速に緩和することが目的で、即効性があり、急性の病状に対して有効です。

副作用にも違いがあり、漢方薬は天然成分を使用しているため、一般的に副作用が少ないとされますが、体質に合わない場合や長期使用には注意が必要です。一方、一般薬は効果が強力な分、副作用のリスクもあり、適切な使用と管理が求められます。また、科学的根拠でも差異があり、漢方薬は伝統的な知識に基づいていますが、現代科学による検証が不足している場合があります。対して、一般薬は臨床試験によってその効果と安全性が確立されており、科学的データに基づいて使用されます。

結論として、漢方薬と一般薬はそれぞれの特性に基づいて使い分けことが重要です。どちらも適切な用途と目的に応じて使用されるべきであり、特に併用する際には、医師や薬剤師に相談することが推奨されます。

(鴻巣薬剤師会)



漢方薬と一般薬(西洋薬)は、異なる背景と哲学に基づく治療法であり、治療のアプローチや効果に違いがあります。

漢方薬と一般薬の違い